

1月1日(水・祝)~同26日(日)
「蓬菜 一 寿ぎの文様 一」

蓬菜山は、古代中国の神仙(しんせん)思想で説かれた仙境の一つで、不老不死の仙人が住む山とされてきました。蓬菜伝説は日本でも古くから知られ、蓬菜を描いた図や文様は、瑞祥(すいしょう)を示す意匠として愛されてきました。本展では、蓬菜の意匠で彩られた品々を展示し、新年を寿ぎます。

▶ギャラリートーク
1月4日(土) 11:00~11:30、14:00~14:30
事前申込:不要 場所:展示室1 ※観覧料が必要

2月1日(土)~3月3日(火)
「雛と雛道具」

▼弥千代の雛道具



井伊家 13代直弼の愛娘弥千代(やちよ)(1846~1927)の雛(ひな)と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛(こきんびな)や御殿飾(ごてんかざり)などとともに一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。

▶ギャラリートーク
2月1日(土) 11:00~11:30、14:00~14:30
事前申込:不要 場所:展示室1 ※観覧料が必要

講座 私の研究最前線
「彦根藩の武具制作とメンテナンス事情」

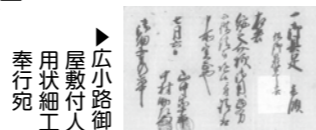
彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究の成果を踏まえて解説します。

①「井伊家と甲冑師」
日時 1月18日(土) 14:00~15:30
講師 古幡 昇子



朱漆燻摩威縫延 腰取二枚胴具足

②「彦根藩の御細工所」
日時 2月22日(土) 14:00~15:30
講師 渡辺 恒一



▶広小路御屋敷付奉行宛細工人
【①②共通】
※会場は当館講堂、定員は60人です。
※資料代はいずれも100円です(中学生以下無料)。
※申込は当日受付(先着順)です。

■【休館日のお知らせ】 1月27日(月)~同31日(金)

特別公開

チケット情報

ひこね市文化プラザ

1月24日(金) 18:30 グランドホール カナディアン・ブラズコンサート スペシャルゲスト:近江高校吹奏楽部、河瀬高校吹奏楽部 指定【発売中】 一般 4,000円 高校生以下 2,000円 友の会価格あり 小学生以上 託児あり(有料・要予約)	1月25日(土) 16:30 グランドホール 加山雄三コンサートツアー 2019-20 START 指定【発売中】 一般 8,000円 友の会価格あり 4歳以上 託児あり(有料・要予約)	3月1日(日) 11:30/15:00 グランドホール 爆笑!!お笑いフェスティバル in ひこね 指定【発売中】 前売・一般 4,070円 当日・一般 4,620円 友の会価格あり 3歳以上 託児あり(有料・要予約)	3月8日(日) 17:00 グランドホール 森麻季&林美智子デュオコンサート ピアノ:山岸茂人 指定【発売中】 一般 4,000円 高校生以下 2,000円 友の会価格あり 小学生以上 託児あり(有料・要予約)	3月28日(土) 14:00 グランドホール 特撰東西落語名人会 出演:桂文珍、桂米團治、柳家花緑 ▶緊急決定! 3月27日(金) 落語おもしろ講座 ※詳しくはお問い合わせください。 指定【発売中】 一般 4,000円 友の会価格あり 小学生以上 託児あり(有料・要予約)
--	--	---	--	--

ひこね市民大学特別講座

▶2月29日(土) 14:00 エコーホール
松田文志 講演会
「強くなるために大切にしてきたこと」
▶3月15日(日) 14:00 エコーホール
田中ウルヴェ京 講演会
「トップアスリートに学ぶ ストレスをやる気に変える方法」
指定【発売中】
一般 1,000円
2講座セット券 1,700円
友の会価格あり
小学生以上
託児あり(有料・要予約)
申込・お問い合わせ先 チケットセンター
☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでも購入いただけます。https://bunpla.jp/
1月の休館日 1日(水・祝)、2日(木)、3日(金)、6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(日)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取り扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は開館日から承ります。
◎表記の価格は全て税込価格です。

みずほ文化センター

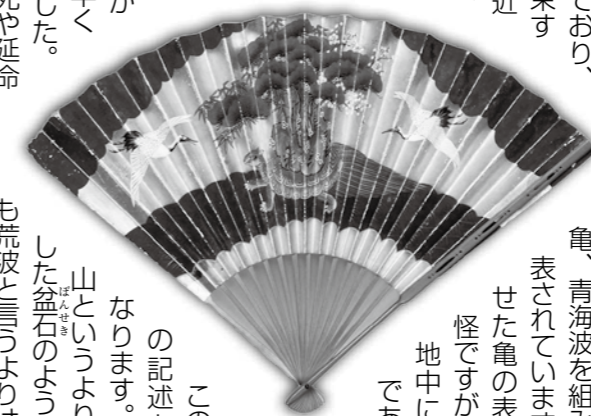
1月18日(土) 14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席vol.34 新春落語まつり
指定【発売中】
一般【前売】1,500円【当日】1,800円
高校生以下【前売】1,000円【当日】1,200円
小学生以上
託児あり(有料・要予約)
毎年恒例新春みずほ寄席!今年も笑福亭見瓶を筆頭に初笑いを皆さんにお届けします。
出演:笑福亭見瓶、笑福亭銀瓶、笑福亭風喬、笑福亭縁、横山ボンスケゆうすけ
申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター
☎43-8111 (9:00~17:00)
1月の休館日 1日(水・祝)、2日(木)、3日(金)、7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)

◎高校生以下のチケットはひこね市文化プラザのみの取り扱い。身分証明書提示要。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

蓬菜 (吉祥の意匠)

蓬菜と聞いて、平安時代に書かれた「竹取物語」に登場する「蓬菜の玉の枝」を思い起こされる方は多いかと思えます。
よく知られる通り、「竹取物語」は、竹の中から生まれたかぐや姫が、5人の貴公子に求婚されるといふ物語です。姫は求婚を拒むため、5人に結婚の条件として無理難題を出しました。この中で、車持皇子に課せられたのは、次のような難題でした。「東の海に蓬菜という山あるなり。そこに銀を根とし、金を茎とし、白き玉を実として立てる木あり。それを一枝折りて給わらむ」

蓬菜は、紀元前から中国で崇拝されてきた伝説上の神山です。古代中国では、峻嶒な山岳には神が宿っており、不老不死の薬を作る方術を操る仙人が住んでいると考えられてきました。
前漢時代、司馬遷が著した「史記」には、「蓬菜には仙人が住んでおり、不老不死の薬がある。鳥獣は尽く白く、黄金や白銀の宮殿がそびえ立っている。不老不死を求めて多くの人が蓬菜を目指したが、その周囲に近づくと大風が吹き、舟を引き返させられる」と記されており、蓬菜は、不老不死を約束する理想郷である一方、近づき難い場所とされてきたことがうかがわれます。「竹取物語」でも、車持皇子は蓬菜へ行かずに鷹の玉の枝を作らせて姫に渡しています。しかし嘘は露見し、求婚は失敗に終わりました。
「竹取物語」からも分かるように、蓬菜伝説は早くから日本に伝えられました。日本では特に、不老不死や延命長寿を叶える理想郷として人々を魅了し、それを反映するかのようになり、平安時代ごろから、さまざまな美術工芸品の意匠として蓬菜が表現される



よくになります。
写真の扇(「蓬菜図扇」当館蔵)は、江戸時代後期に制作されたと考えられるもので、松竹梅の生える岩島と鶴亀、青海波を組み合わせて蓬菜が表されています。背に岩山を載せた亀の表現はいかにも奇怪ですが、これは、蓬菜が地中に根をもたない鳥であり、亀によって支えられていると考えられてきたことに由来するものです。
この蓬菜は、「史記」の記述とは随分趣が異なります。山は、険しい岩山というよりはこざんまりとした磐石のような形で表され、波も荒波と言つよりは装飾的な繰り返した文様として表現されています。背景には金箔を貼り詰め、一つ一つのモチーフは濃彩で描かれており、蓬菜の神々しさや華やかさ、めでたさを

写真の作品は、テーマ展「蓬菜 一 寿ぎの文様 一」で1月1日(水・祝)~同26日(日)に展示します(期間中無休)。
【彦根城博物館学芸員 奥田昂子】